

AILTON KRENAK



アユトン・クレナック 絵画展

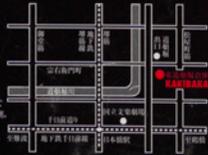
ヒルサイドギャラリー／
アートフロント
ギャラリー展示室

〒150-0033東京都渋谷区皇町29-1ビルサイドテラスA
TEL:03-3476-4795 / Fax:03-3476-4874



●交通
有明駅(代官山駅)一徒歩3分
有明線 地下鉄日比谷線(中目黒駅)一徒歩7分
山の手線-地下鉄日比谷線(池比嘉駅)一徒歩10分

東道頓堀倉庫
KAKIBAKA
〒542-0066大阪市中央区瓦屋町3-10-19
TEL:06-214-5223 / Fax:06-212-5258



●近ナミ・心斎橋方面から、宗右衛門町通りをまっすぐ
南へ、御膳前交差点をC/F200m、阪神烏丸線御膳前駅南側
●地下鉄千日前線(本町駅)から、千日前線(大馬路)へ
阪神烏丸線御膳前駅の地下を左折し、一丁目の交差点を右折し、
C/F200mを左折(約5分)

AILTON KRENAK exhibition

11月9日(月)~11月15日(日)
ヒルサイドギャラリー／アートフロントギャラリー展示室
11月22日(日)~11月28日(土)
東道頓堀倉庫 KAKIBAKA

AILTON



作品1



作品2

私たちは子供にこう教えるのです。「地上にやってくる時には物音をたてずに鳥のように静かに降りたち、やがて何の跡も残さず空に旅立っていくのだ」と。「人は何かを成すために存在する」という西側哲学は銅像を作り、人の偉業を記録に残そうとしてきた。だけど、人は何もしないために存在してもいいじゃないか、と思うのです。生命を受け、生きていること自体が素晴らしいことなのでから



作品3

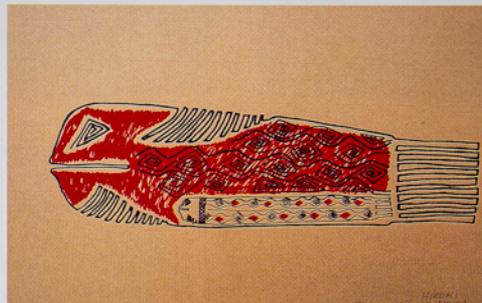


作品4



作品5

KRENAK



「川のパワーをあらわしたアイトンの絵」作品6

インディオの伝説にある川の精霊を表そうと、私が描いた絵です。魚をたくさんとるためには水の精霊の協力が必要で、精霊との交渉がうまくいけば大漁となります。川は常に流れ、流れは昨日のものとは違い、水は動くことで自らを清めています。風が種を運ぶように、水も種を運びます。種から生まれる新しい生命、それはきちんと古いものを受けついています。旧いけれど、新しい。新旧入り乱れたダイナミズム、それが生命なのです。



作品7



作品8



アイトン・クレナック

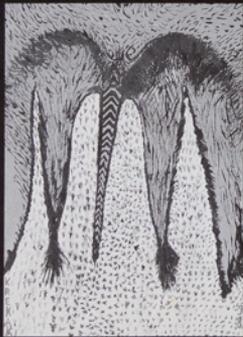
1953年生れ。

アマゾンの先住民族クレナック族のリーダーとして、80年代は、先住民の土地の権利の保障を獲得するため、政治の表舞台で活躍しました。1988年、ブラジル国会で、抗議の意志をこめて顔を黒くぬったアイトンが語り始めると、議員たちは沈黙し、先住民の土地の権利を保障する憲法議案が認められました。その後、アイトンは政治から退き、インディオ自立のプロジェクトに力を注いでいます。

KRENAK



作品 9



作品 10



作品 11



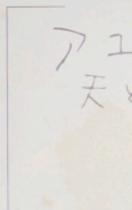
作品 12

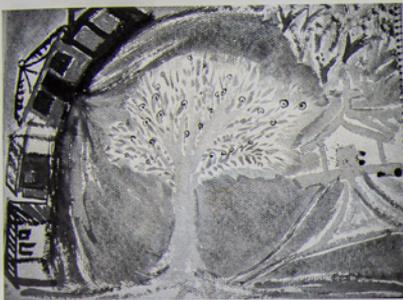


作品 13



作品 14





作品 15



作品 16



作品 17

アイトンさん
天と地と僕とを
つないでください。
空の匠さん

天が在って空色という絵具。水が在っての水色。
波が在るから「ザブーン」というコトバと音。
絵も音も全部上トが自然から教わったこと
だと思えます。人間がイチバンの時代は
もう オワリ、もっと天と地から
字ばなければ。

黒田征太郎 画家

アイトンの体には美しい森の記憶がある。
長倉洋海がそれを「詩」として「知」として
見事に結像させた。
二人の旅は、いわば、人の記憶の空がし。
かけがえない言葉と風景に、魂が洗われた。
静かに、深く得心した。

辺見 庸 作家

長倉洋海

フォト
ジャーナリスト



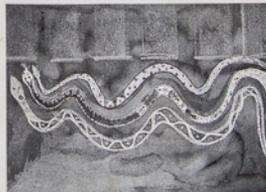
作品 18



作品 19



作品 20



作品 21



作品 22

© 1998 ALTON KRENAK
photo Hiroe Nagakura / design Midveki Kawakami
TOKUMA SHOTEN PUBLISHING CO., LTD.
1-1-16, Higashi-Shinjuku, Musashino, TOKYO 105-8055 TEL.03-3573-0111



作品 23



作品 24

快適です。JALの空。

JALで飛ぶ空の旅。
ゆったりと落ちつきのある機内ではお食事に、映画に、音楽にと楽しさがいっぱい。
お仕事に、観光に、この空の旅もJALでお出かけ下さい。



日本航空

JAL

JALフリーダイヤル
国内線予約・案内
☎ 0120-25-5931
国際線予約・案内
☎ 0120-25-5971

電話番号をよんで頂くかたのみ、おかけ下さい。